

第 27 回 関東地区大学教育研究会

(大学教育学会 関東支部)

日時 2010年10月2日(土) 13時より

会場 横浜市立大学 金沢八景キャンパス(京浜急行線 金沢八景駅 徒歩4分)

参加費: 500円 懇親会費: 2,500円 (非会員の方もご参加いただけます)

13:00 ~ 受付 <ビデオホール>

13:30 ~ 13:50 総会

14:00 ~ 14:50 自由研究発表

「College Readiness - その現在の意義について」 菅野 憲司(千葉大学)

「大学教育における哲学・倫理学教育について」 坂井 昭宏(桜美林大学)

15:00 ~ 17:30 シンポジウム 「共通教育のマネジメント」

大学設置基準大綱化と共に、多くの大学で一般教育等の実施組織が弱体化し、教養教育の縮小や担当教員の偏りなど、様々な形で教養教育が打撃を受けました。それから15年経過し、社会的な環境変化もあり、高校から大学への転換教育、市民力教育の必要性が叫ばれ、教養教育の重要性がジェネリックスキルというような言説によって浸透しつつあります。2008年には中教審答申において、新たな学士課程教育の成果目標(例示)として「学士力」が提示されました。

共通教育と呼称されるかつての一般教育等は、実施組織が解体し、「全学出動体制」で運営されることが多くなっています。とは言っても、中心的な役割は旧教養教育組織の教員が担っているのが実情です。しかし定年退職や定員削減等でこうした教員が減少し、安定的に共通教育を運営する仕組みを確立することが焦眉の課題になっています。

また一方で、いまだに一般教育担当者と専門教育担当者の区分が残り、格差が固定化している例も少なくありません。とりわけ、小規模大学、単科大学では、全学運営が困難で、共通教育担当者の固定化がますます進んでいるという状況も生じています。

今年度の研究会では、小規模大学、単科大学に焦点を当て、共通教育の実施においてどのような課題があるのか、「学士力」に例示されるような新たな教養教育を展開する上で、阻害する要因があるとなればそれは何か、マネジメントの面から考えてみたいと思います。

【発題者】

吉永 契一郎(東京農工大学) 奈良 雅之(目白大学) 小林 勝法(文教大学)

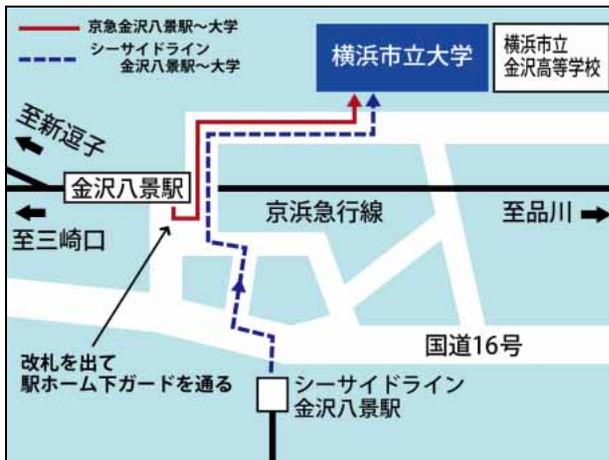
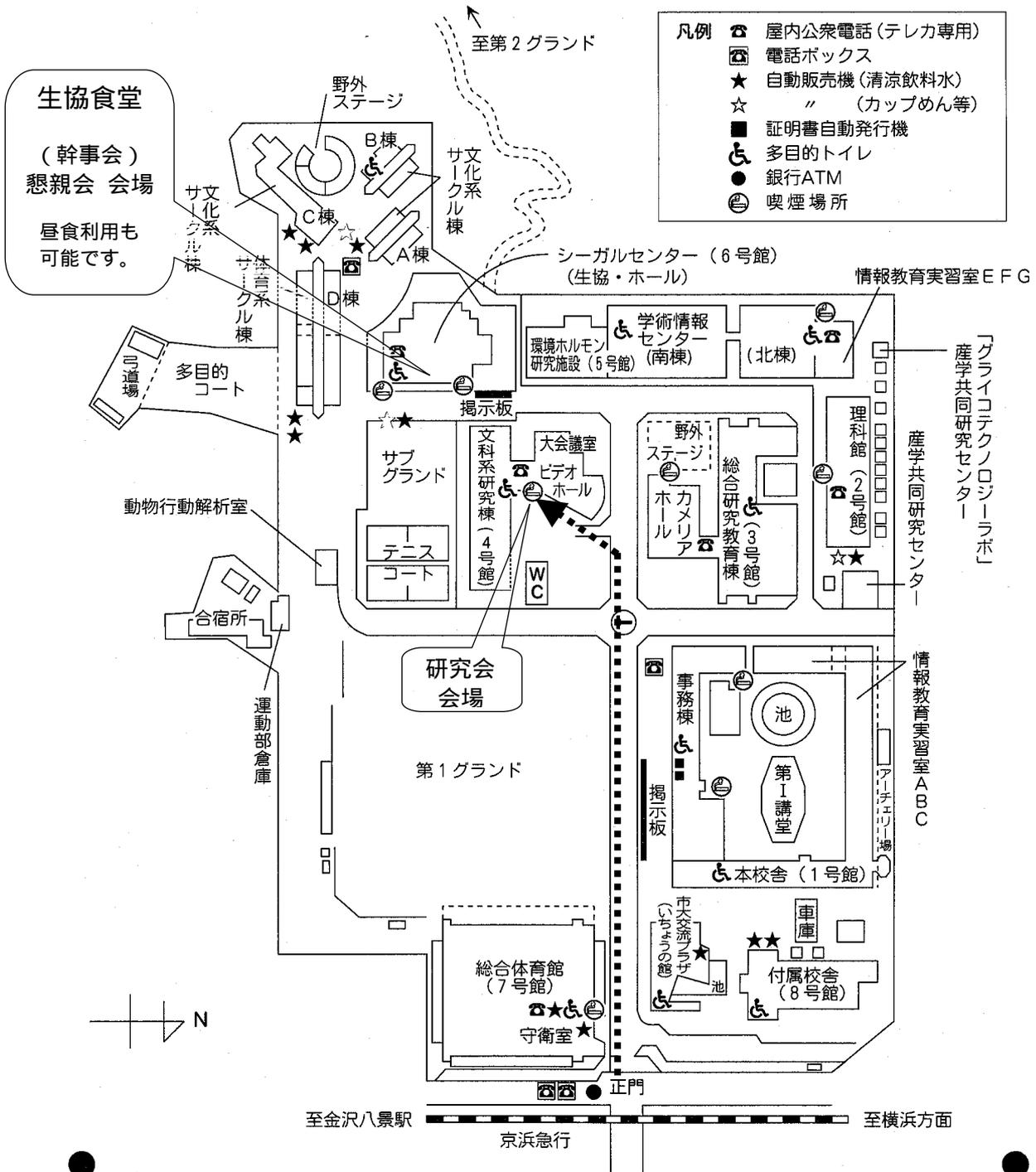
その他事例紹介(2~3大学)

18:00 ~ 懇親会 <シーガルセンター・生協食堂>

【参加申込先】 出光 直樹(横浜市立大学) naoki@idemitsu.info

なるべく9月25日(土)までに、氏名 所属 懇親会への参加の有無を、お知らせ下さい。参加費・懇親会費は、当日会場で申し受けます。

【横浜市立大学金沢八景キャンパス】



京浜急行線「金沢八景駅」下車 徒歩4分
シーサイドライン「金沢八景駅」下車 徒歩7分

京浜急行主要駅から「金沢八景駅」までの所要時間

- * 「横浜駅」から快特/特急で約20分
- * 「品川駅」から快特/特急で約40分
- * 「羽田空港駅」から急行・快特/特急で約45分

JR 新杉田駅からシーサイドライン「金沢八景駅」まで
約25分